

小中連携・学校と地域との連携等についてのアンケート調査結果

平成23(2011)年5月

中野区教育委員会

目次

<調査の概要>.....	1
1. 目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 質問項目.....	1
5. 調査期間.....	1
6. 回収数.....	1
これからの学校に望むこと	
○ 通学している学校をどんな学校にしたいですか?.....	2
○ 学校に、今後、特にどのようなことに取り組んでほしいと思いますか?.....	4
小学校と中学校の連携について	
○ 小学校と中学校の連携を推進するために取り組んでほしいことは何ですか? ..	6
○ 中学校に入学して困ったことはありましたか?.....	8
学校と地域との連携について	
○ 地域の人や保護者が学校を支援してくれることについてどのように思いますか?...	9
○ 学校は、地域とどのような関係が望ましいと思いますか?.....	9
○ 学校支援ボランティアの活用を図ることについてどのように考えますか?...	11
○ 学校支援ボランティアとしての協力についてどのように考えますか?.....	12
学校の統合について	
○ 統合するにあたって、学校生活で心配なことはありましたか?.....	13
○ 統合して変わったことはありましたか?.....	15
○ 運動会や学芸会、合唱コンクールなどの行事はどのように変わりましたか? ..	18
○ 統合により人数が増えたことについてどのように思いますか?.....	19
○ 統合に際して、職務上配慮したことは何ですか?.....	20
○ 校務事務の負担に変化はあったと思いますか?.....	21
自由意見.....	22
【参考資料】	23

<調査の概要>

1. 目的

区立小中学校の児童・生徒、保護者及び教職員に対して、小中連携や学校と地域との連携等に関するアンケート調査を実施し、区立小中学校での今後の取り組みに向けた検討の参考とする。

なお、平成 21 年度の統合新校の白桜小学校と南中野中学校については、併せて統合に関する項目を追加し、統合における学校運営に活かすこととする。

2. 調査対象

- (1) 中野区立小中学校に通学している児童（4・5 学年）・生徒（1・2 学年）とその保護者から任意抽出した児童・生徒及び保護者（2,012 人）
- (2) 中野区立小中学校に勤務する教職員から任意抽出した教職員（268 人）
- (3) 白桜小学校の 3 学年～6 学年までの児童・保護者・教職員、南中野中学校の 3 学年の生徒・保護者・教職員（555 人）

3. 調査方法

学校を通じて調査票を配付・回収

4. 質問項目

参考資料のとおり

5. 調査期間

平成 23 年 2 月 15 日（火）～3 月 4 日（金）

6. 回収数

- | | | | |
|---------|------------------|----------------|-----------------|
| (1) 児童 | 572 人 (93.92%) | (配付数; 609 人) | (全児童数; 8,835 人) |
| (2) 生徒 | 629 人 (94.02%) | (配付数; 669 人) | (全生徒数; 3,290 人) |
| (3) 保護者 | 913 人 (73.75%) | (配付数; 1,238 人) | |
| (4) 教職員 | 249 人 (78.06%) | (配付数; 319 人) | (全教職員数; 792 人) |
| 合計 | 2,363 人 (83.35%) | | |

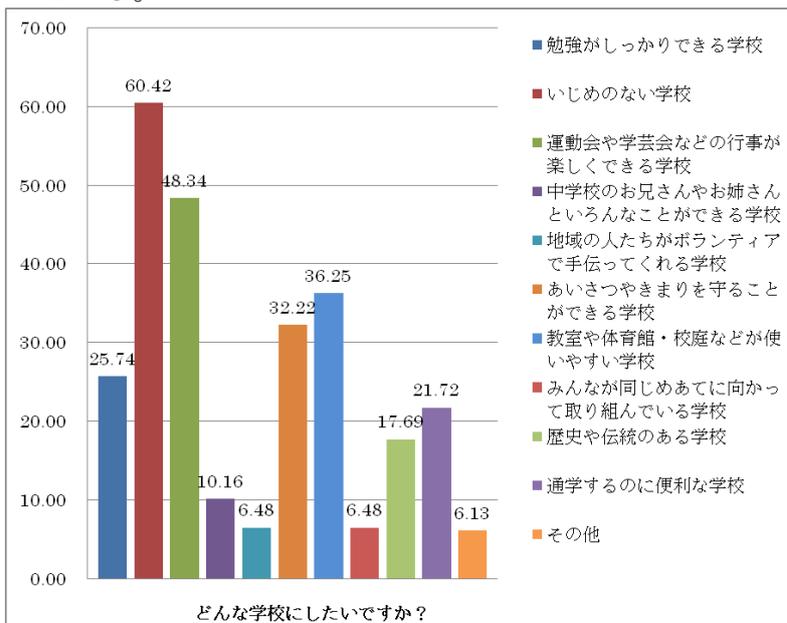
※ 全児童数・全生徒数・全教職員数は平成 22 年 5 月 1 日現在の数

※ 教職員は、常勤の教職員のみ

これからの学校に望むこと

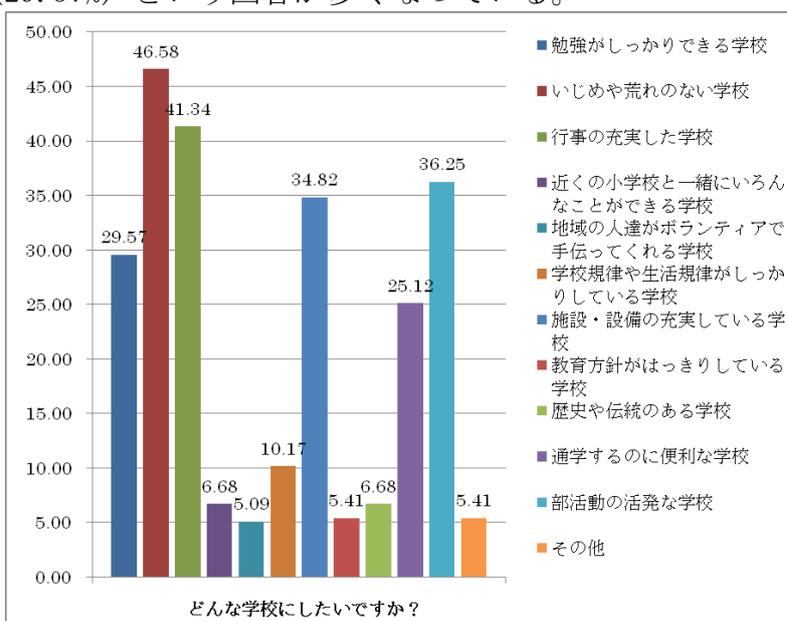
○ 通学している学校をどんな学校にしたいですか？（回答は3つ以内で選択） ＜児童＞

「いじめのない学校」という回答が345人（60.42%）、「運動会や学芸会などの行事が楽しくできる学校」が276人（48.34%）と多く、次いで「教室や体育館・校庭などが使いやすい学校」207人（36.25%）、「あいさつやきまりを守ることができる学校」184人（32.22%）、「勉強がしっかりできる学校」147人（25.74%）という回答が多くなっている。



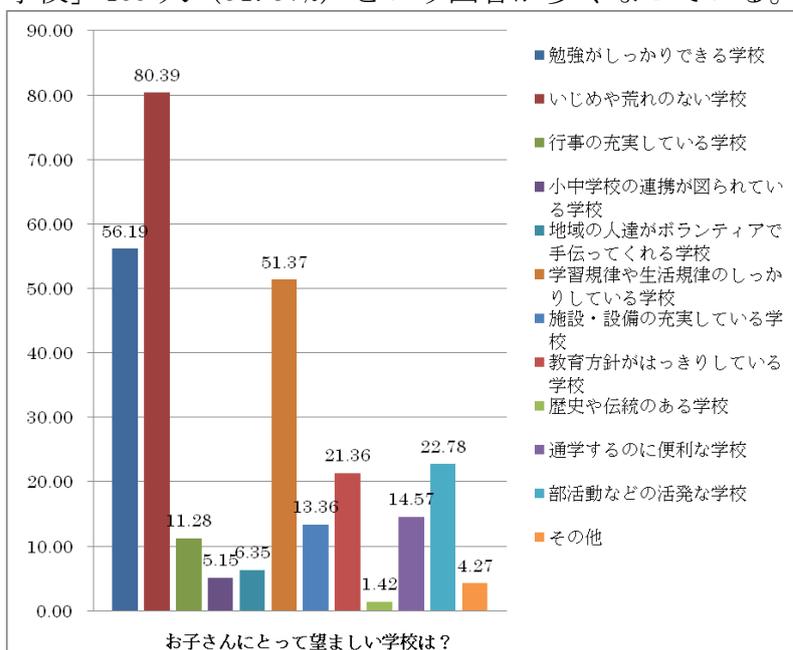
＜生徒＞

「いじめや荒れのない学校」という回答が293人（46.58%）、「行事の充実した学校」が260人（41.34%）と多く、次いで「部活動の活発な学校」228人（36.25%）、「施設・設備の充実している学校」219人（34.82%）、「勉強がしっかりできる学校」186人（29.57%）という回答が多くなっている。



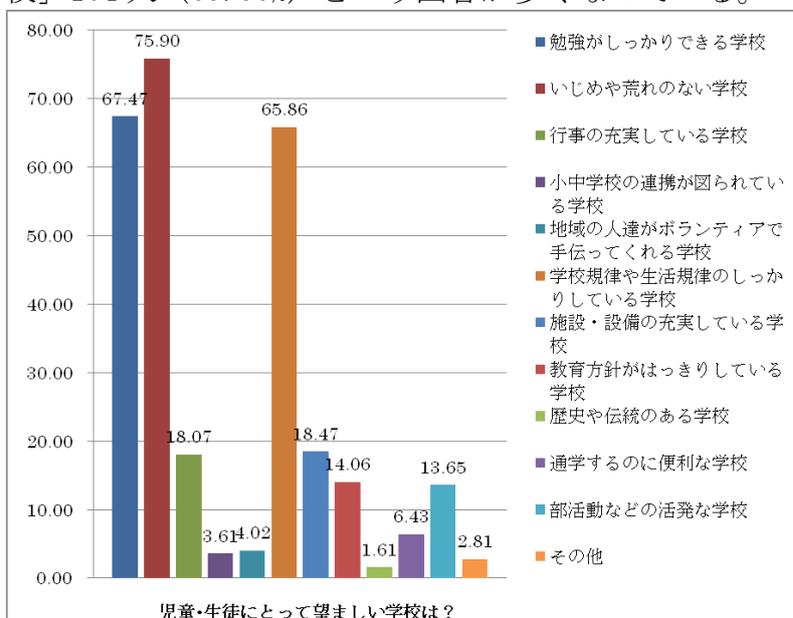
<保護者>

「いじめや荒れのない学校」という回答が734人(80.39%)と最も多く、次いで「勉強がしっかりできる学校」513人(56.19%)、「学校規律や生活規律のしっかりしている学校」469人(51.37%)という回答が多くなっている。



<教職員>

「いじめや荒れのない学校」という回答が189人(75.90%)と多く、次いで「勉強がしっかりできる学校」168人(67.47%)、「学校規律や生活規律のしっかりしている学校」164人(65.86%)という回答が多くなっている。



【その他の主な意見】

<児童>

- ・楽しい学校 (7件)
- ・みんなが仲良くできる学校 (5件)
- ・教室や校庭が広い学校 (2件)

<生徒>

- ・給食がおいしい学校 (3件)
- ・部活動の種類が多い学校 (2件)

<保護者>

- ・教員との信頼関係ができている学校 (5件)
- ・個人の能力を見出せ、引き出せる教員のいる学校 (5件)

<教職員>

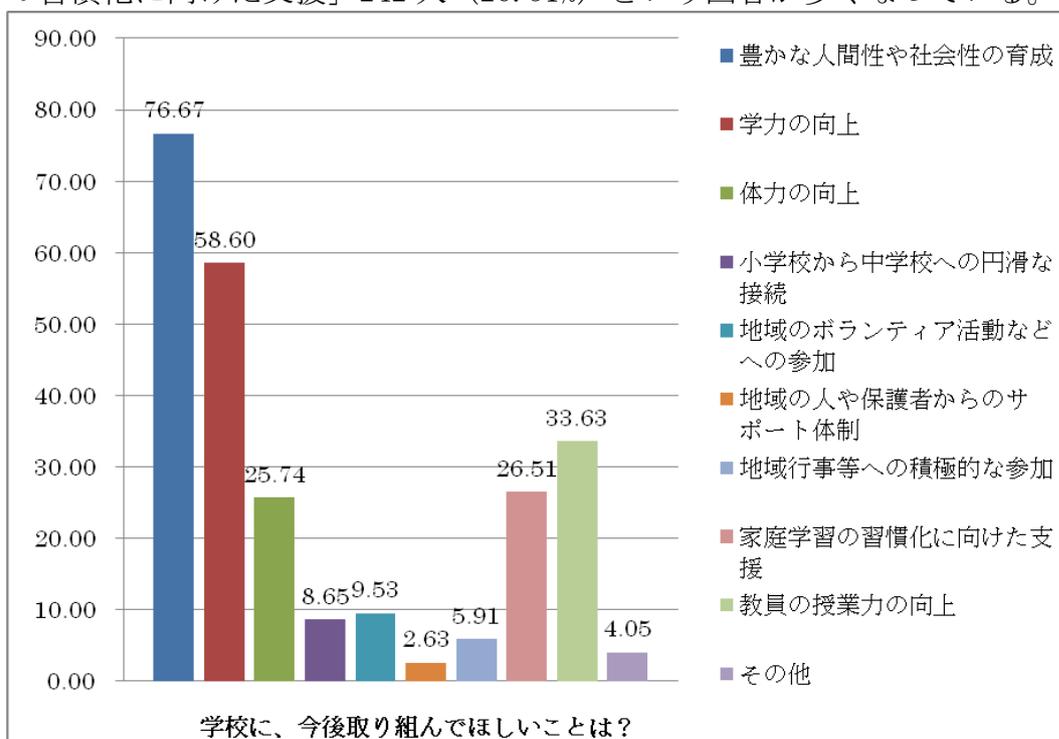
- ・子どもにとって活力のある学校 (1件)
- ・通学するのが楽しみな学校 (1件)
- ・社会性が身に付けられる学校 (1件)

○ 学校に、今後、特にどのようなことに取り組んでほしいと思いますか？

(回答は3つ以内で選択)

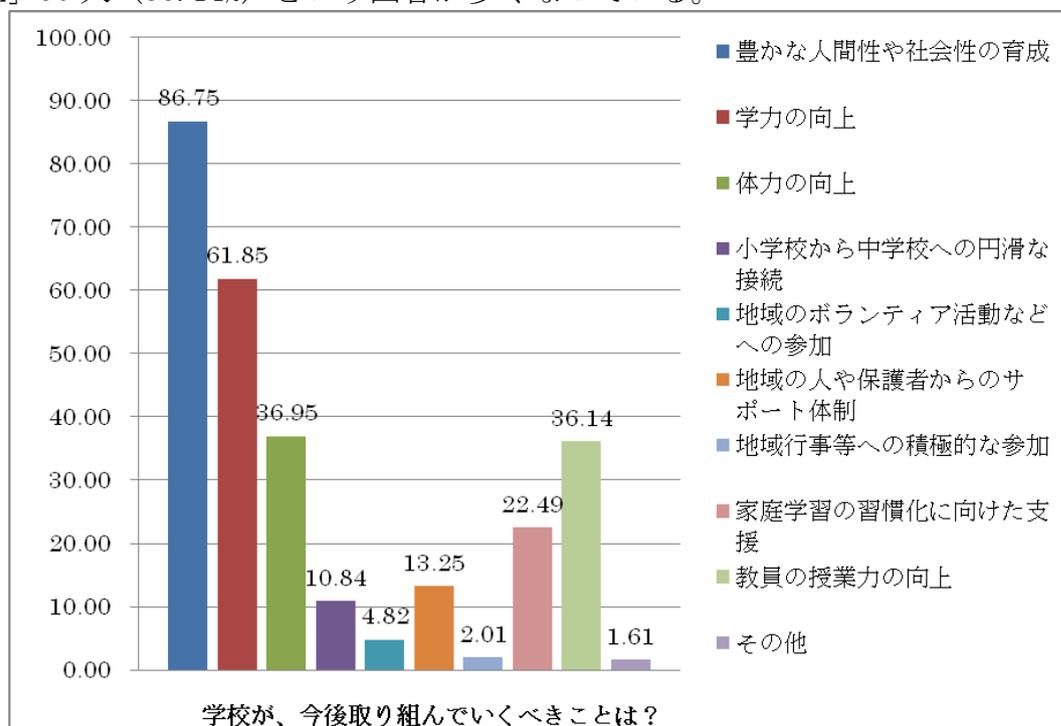
<保護者>

「豊かな人間性や社会性の育成」という回答が700人(76.67%)、「学力の向上」が535人(58.60%)と多く、次いで「教員の授業力の向上」307人(33.63%)、「家庭学習の習慣化に向けた支援」242人(26.51%)という回答が多くなっている。



<教職員>

「豊かな人間性や社会性の育成」という回答が 216 人 (86.75%)、「学力の向上」が 154 人 (61.85%) と多く、次いで「体力の向上」92 人 (36.95%)、「教員の授業力の向上」90 人 (36.14%) という回答が多くなっている。



【その他の主な意見】

<保護者>

- ・部活動の充実 (7 件)
- ・教員の指導力の向上 (4 件)

<教職員>

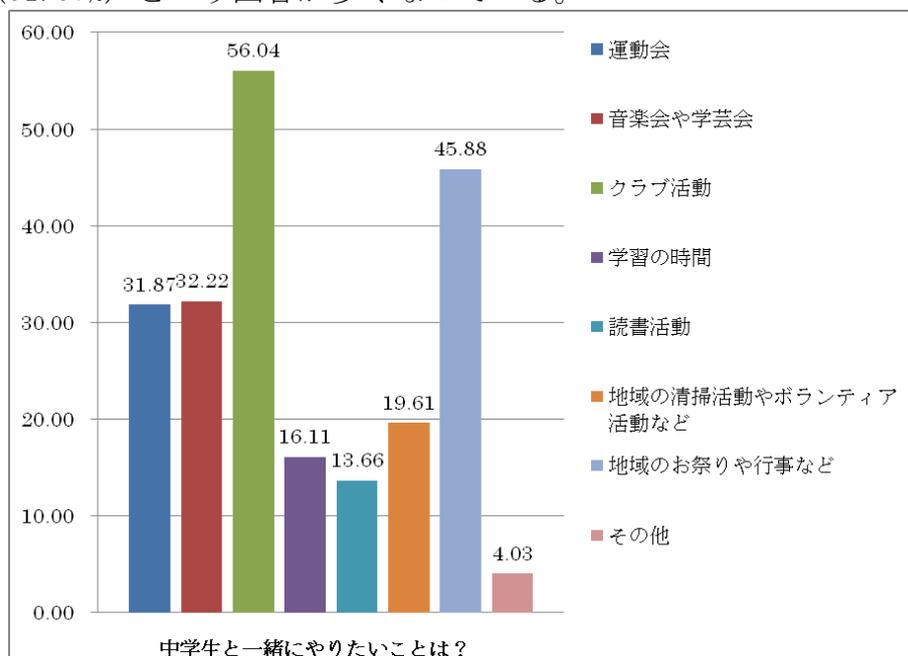
- ・体験を重視したカリキュラム (1 件)
- ・社会性を育むための保護者との取り組み (1 件)

小学校と中学校の連携について

○ 小学校と中学校の連携を推進するために取り組んでほしいことは何ですか？
（回答は3つ以内で選択）

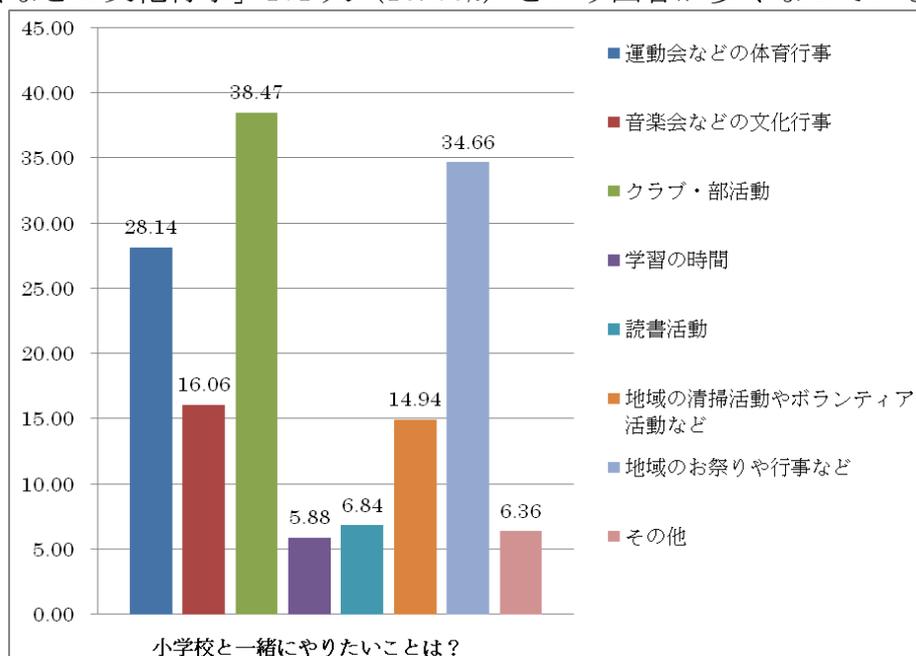
<児童>

「クラブ活動」という回答が320人（56.04%）、「地域のお祭りや行事など」が262人（45.88%）と多く、次いで「音楽会や学芸会」184人（32.22%）、「運動会」182人（31.87%）という回答が多くなっている。



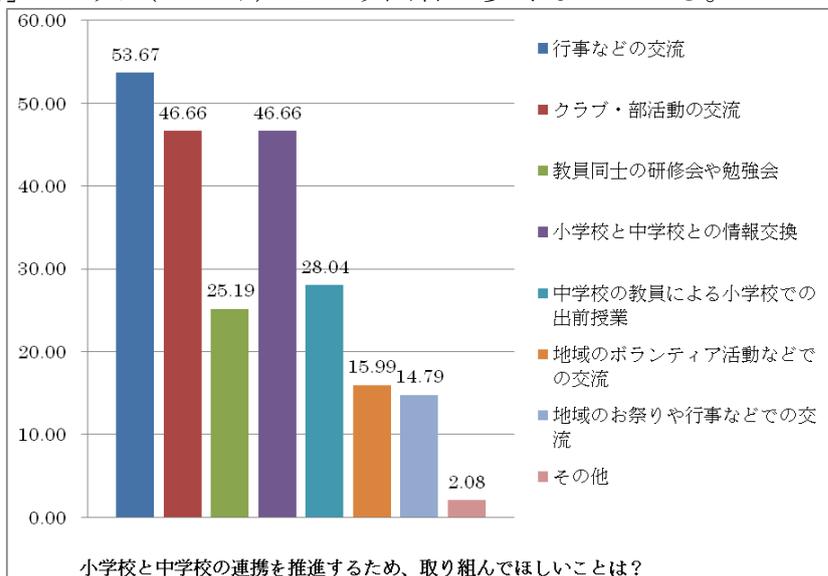
<生徒>

「クラブ・部活動」という回答が242人（38.47%）、「地域のお祭りや行事など」が218人（34.66%）と多く、次いで「運動会などの体育行事」177人（28.14%）、「音楽会などの文化行事」101人（16.06%）という回答が多くなっている。



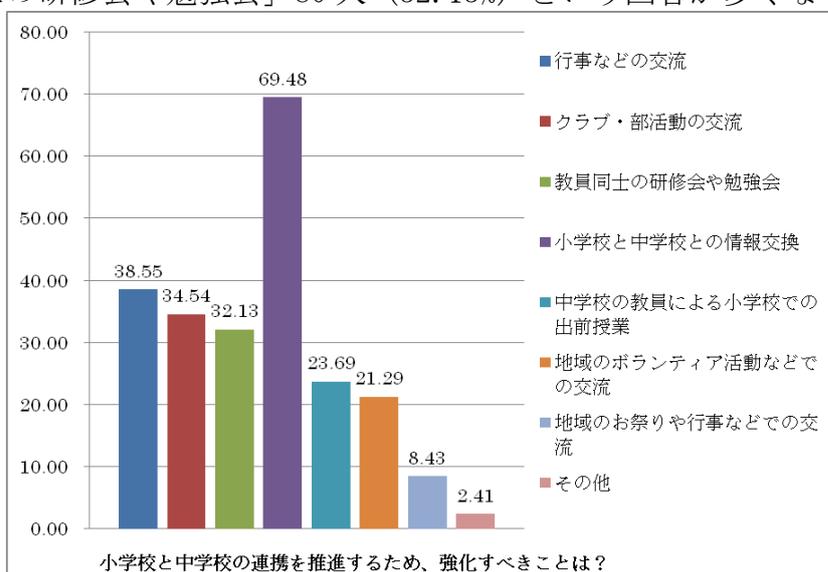
<保護者>

「行事などの交流」という回答が 490 人 (53.67%)、「クラブ・部活動の交流」426 人 (46.66%)、「小学校と中学校との情報交換」426 人 (46.66%) と多く、次いで「中学校の教員による小学校での出前授業」256 人 (28.04%)、「教員同士の研修会や勉強会」230 人 (25.19%) という回答が多くなっている。



<教職員>

「小学校と中学校との情報交換」という回答が 173 人 (69.48%) と多く、次いで「行事などの交流」96 人 (38.55%)、「クラブ・部活動の交流」86 人 (34.54%)、「教員同士の研修会や勉強会」80 人 (32.13%) という回答が多くなっている。



【その他の主な意見】

<保護者>

- ・連携を主体とした学習指導 (1 件)
- ・教員の負担軽減 (1 件)

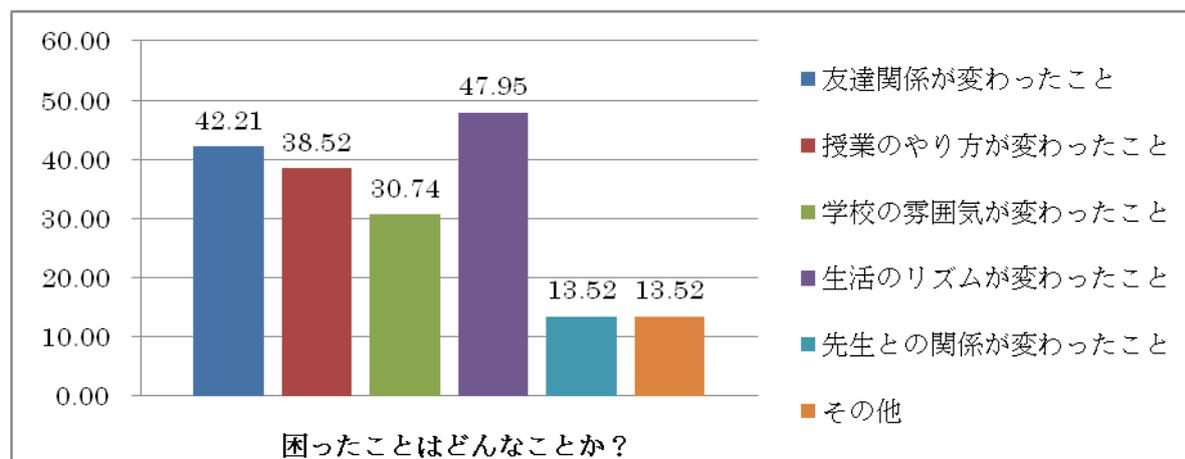
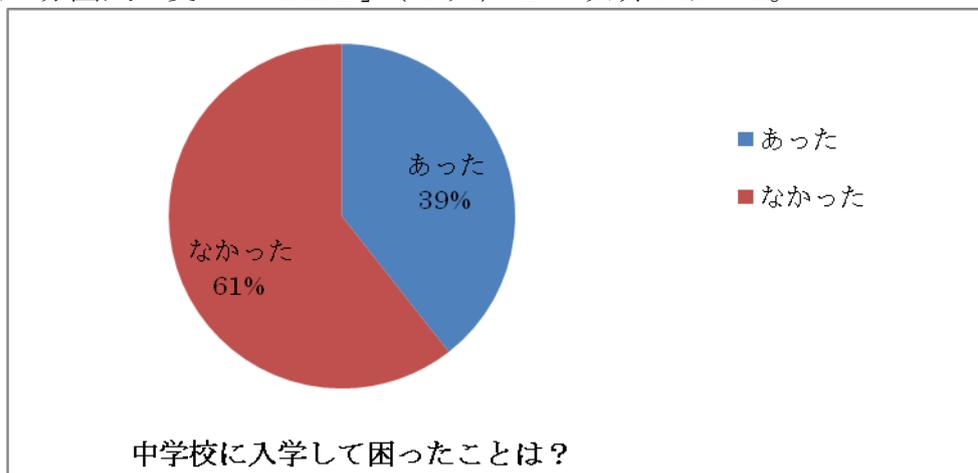
<教職員>

- ・小中学校の子どもの実態がわかるような交流 (1 件)
- ・小学生の中学校を見て知る機会 (1 件)

○ 中学校に入学して困ったことはありましたか？（理由は3つ以内で選択）

<生徒>

「困ったことはなかった」という回答が375人（61%）で、「困ったことがあった」という回答が244人（39%）であった。また、「困ったことがあった」と回答した生徒の困ったことは、「生活のリズムが変わったこと」が244人中117人と多く、次いで「友達関係が変わったこと」（103人）、「授業のやり方が変わったこと」（94人）、「学校の雰囲気が変わったこと」（75人）という順であった。



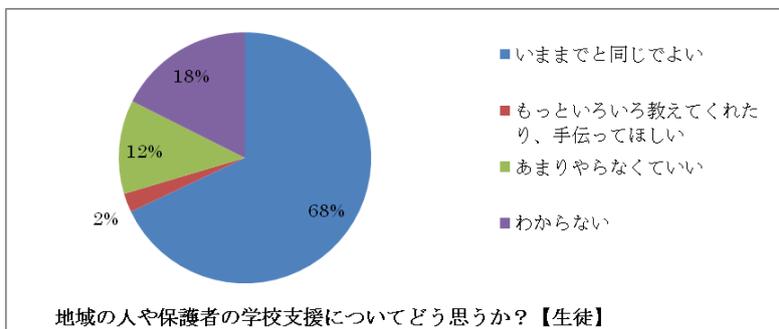
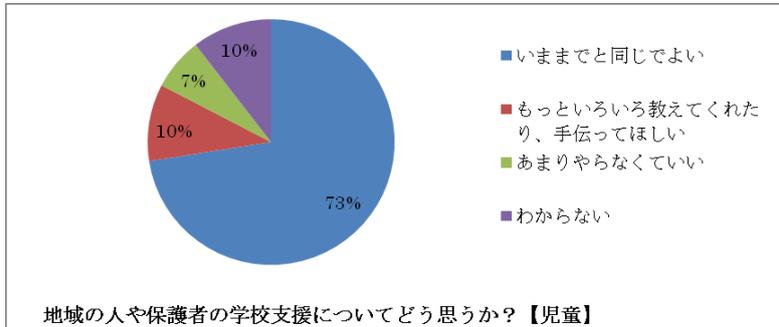
【その他の主な意見】

- ・ 上級生との関係（3件）
- ・ 勉強が難しくなった（3件）
- ・ 定期考査があること（3件）

学校と地域との連携について

○ 地域の人や保護者が学校を支援してくれることについてどのように思いますか？ ＜児童・生徒＞

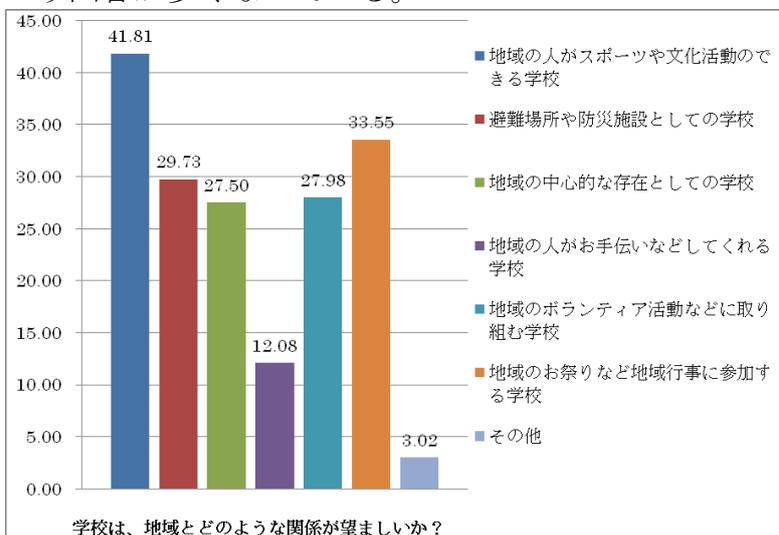
「いままでと同じでよい」という回答が児童では 409 人（73%）、生徒では 422 人（68%）と高くなっている。



○ 学校は、地域とどのような関係が望ましいと思いますか？ （回答は3つ以内で選択）

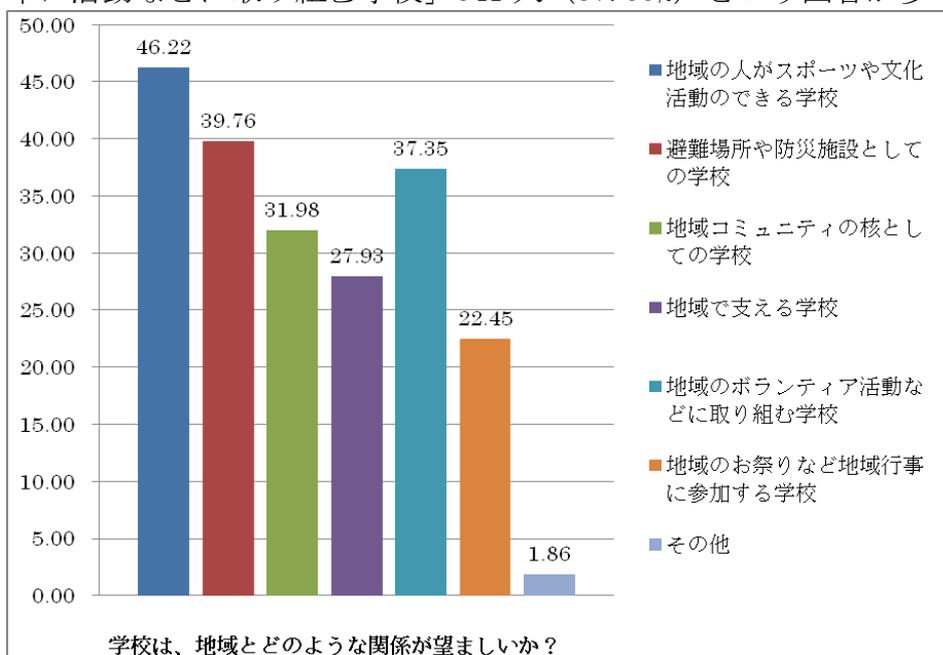
＜生徒＞

「地域の人がスポーツや文化活動のできる学校」という回答が 263 人（41.81%）、
「地域のお祭りなど地域行事に参加する学校」が 211 人（33.55%）と多く、次いで「避難場所や防災施設としての学校」187 人（29.73%）、
「地域のボランティア活動などに取り組む学校」176 人（27.98%）、
「地域の中心的存在としての学校」173 人（27.50%）という回答が多くなっている。



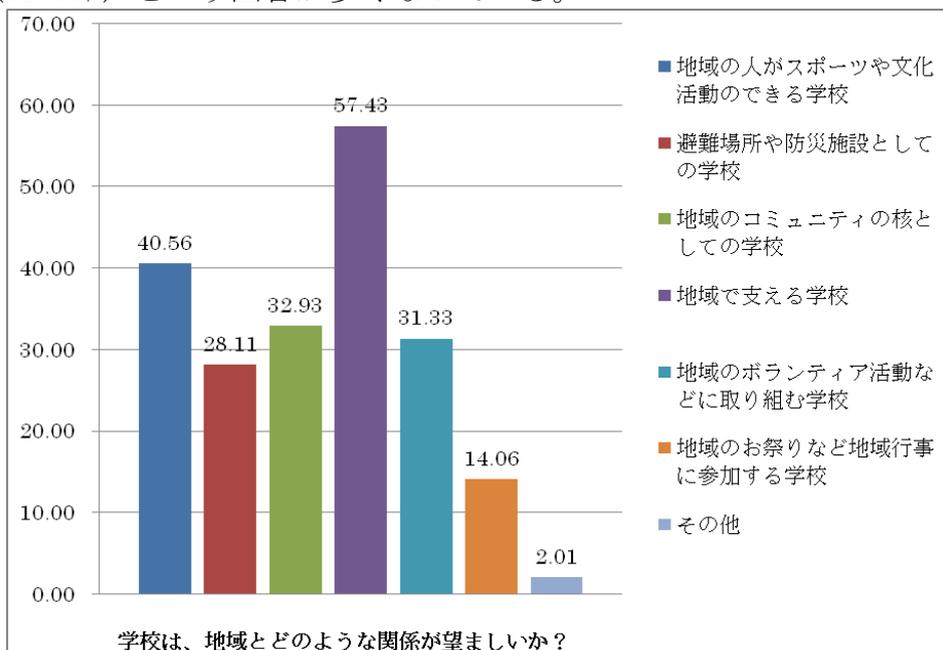
<保護者>

「地域の方がスポーツや文化活動のできる学校」という回答が422人(46.22%)と多く、次いで「避難場所や防災施設としての学校」363人(39.76%)、「地域のボランティア活動などに取り組む学校」341人(37.35%)という回答が多くなっている。



<教職員>

「地域で支える学校」という回答が143人(57.43%)と多く、次いで「地域の方がスポーツや文化活動のできる学校」101人(40.56%)、「地域のコミュニティの核としての学校」82人(32.93%)、「地域のボランティア活動などに取り組む学校」78人(31.33%)という回答が多くなっている。



【その他の主な意見】

<保護者>

- ・現状で十分（2件）
- ・地域が学校の活動がわかるような開かれた学校（1件）

<教職員>

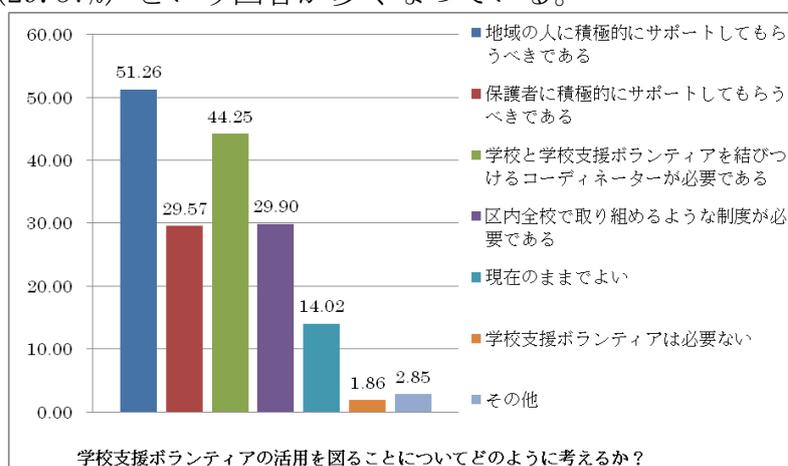
- ・地域が学校に協力する関係（1件）

○ 学校支援ボランティアの活用を図ることについてどのように考えますか？

（回答は3つ以内で選択）

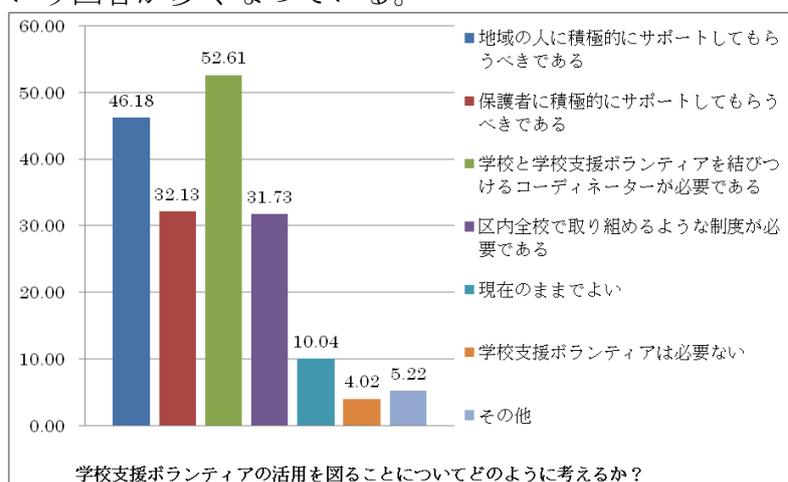
<保護者>

「地域の人に積極的にサポートしてもらうべきである」という回答が 468 人（51.26%）、「学校と学校支援ボランティアを結びつけるコーディネーターが必要である」が 404 人（44.25%）と多く、次いで「区内全校で取り組めるような制度が必要である」273 人（29.90%）、「保護者に積極的にサポートしてもらうべきである」270 人（29.57%）という回答が多くなっている。



<教職員>

「学校と学校支援ボランティアを結びつけるコーディネーターが必要である」という回答が 131 人（52.61%）、「地域の人に積極的にサポートしてもらうべきである」が 115 人（46.18%）と多く、次いで「保護者に積極的にサポートしてもらうべきである」80 人（32.13%）、「区内全校で取り組めるような制度が必要である」79 人（31.73%）という回答が多くなっている。



【その他の主な意見】

<保護者>

- ・学校支援ボランティアに頼るばかりではいけない (3件)
- ・ニーズとどのような協力ができるかを具体的にしていける必要がある (3件)
- ・教員を目指す若い人にボランティアをしてもらってはどうか (1件)

<教職員>

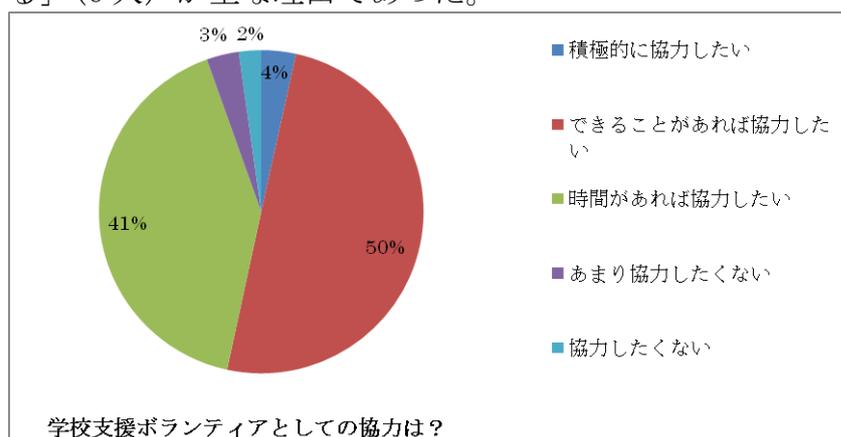
- ・学生ボランティアを積極的に活用する (2件)
- ・プライバシーの取り扱いに注意が必要である (1件)

○ 学校支援ボランティアとしての協力についてどのように考えますか？

<保護者>

「積極的に協力したい」と回答した保護者が31人(4%)「できることがあれば協力したい」450人(50%)「時間があれば協力したい」371人(41%)で合計95%となっており、ほとんどの保護者が機会や時間があれば協力したいと考えている。

また、「あまり協力したくない」「協力したくない」という回答が49人(5%)あり、「仕事や家事で時間的な余裕がない」(19人)や「すでにPTA活動などで協力している」(6人)が主な理由であった。



[協力したくない主な理由]

- ・仕事や家事で時間的な余裕がない 19件
- ・すでにPTA活動などで協力している 6件
- ・体の具合が悪く、したくてもできない 3件
- ・ボランティアの導入に反対のため 2件

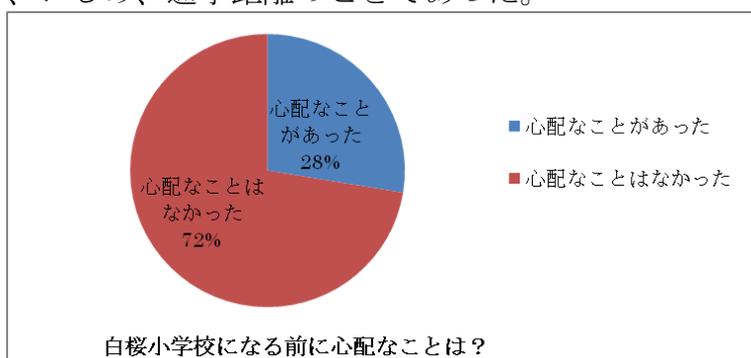
学校の統合について

○ 統合するにあたって、学校生活で心配なことはありましたか？

<児童>

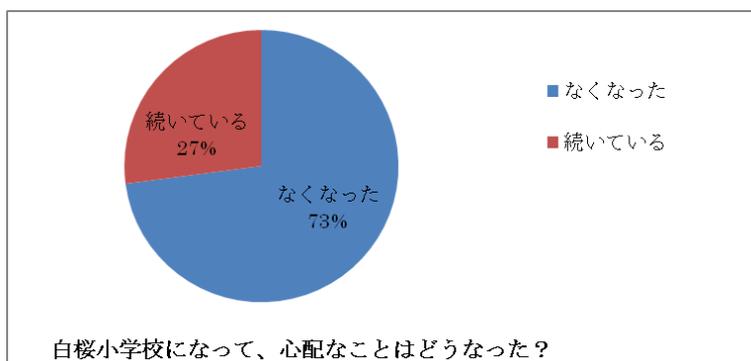
「心配なことはなかった」という回答が126人（72%）で、「心配なことがあった」という回答が48人（28%）であった。また、「心配なことがあった」と回答した児童のうち、統合後「心配なことがなくなった」という回答が35人（73%）であった。

なお、心配なことについては、友達関係やいじめ、統合した学校間でのトラブルなどが主なものであり、統合後も心配なことが続いていることは、友達関係やクラス分け、いじめ、通学距離のことであった。



[主な心配なこと]

・友達関係	18件
・いじめ	9件
・学校間でのトラブル	3件
・クラス分け	3件
・通学距離	1件



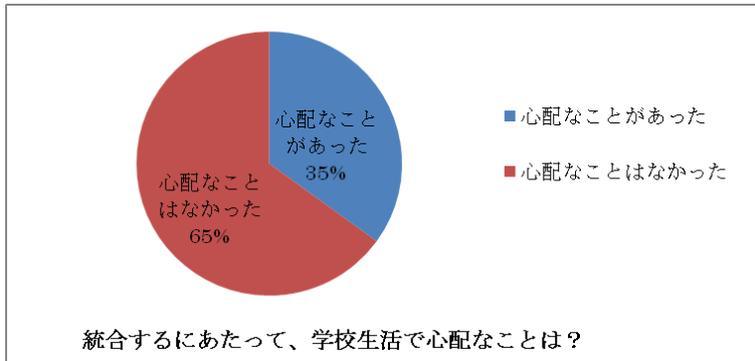
[続いている主な心配なこと]

・友達関係	6件
・いじめ	4件
・クラス分け	1件
・通学距離	1件

<生徒>

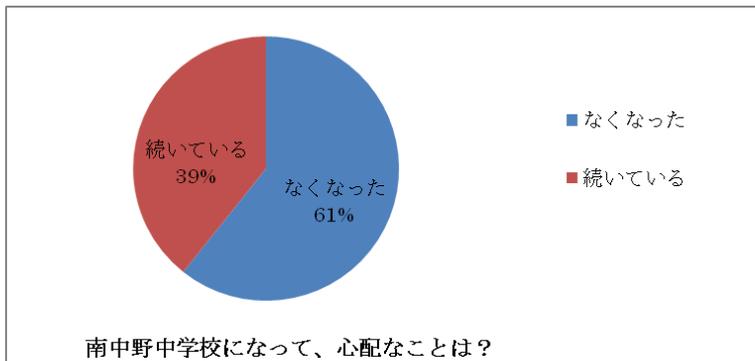
「心配なことはなかった」という回答が 52 人（65%）で、「心配なことがあった」という回答が 28 人（35%）であった。また、「心配なことがあった」と回答した生徒のうち、統合後「心配なことがなくなった」という回答が 17 人（61%）であった。

なお、心配なことについては、友達関係やいじめ、クラスに馴染めるかなどが主なものであり、統合後も心配なことが続いていることは、友達関係やいじめのことであった。



[主な心配なこと]

- ・友達関係 9 件
- ・いじめ 3 件
- ・クラスに馴染めるか 1 件



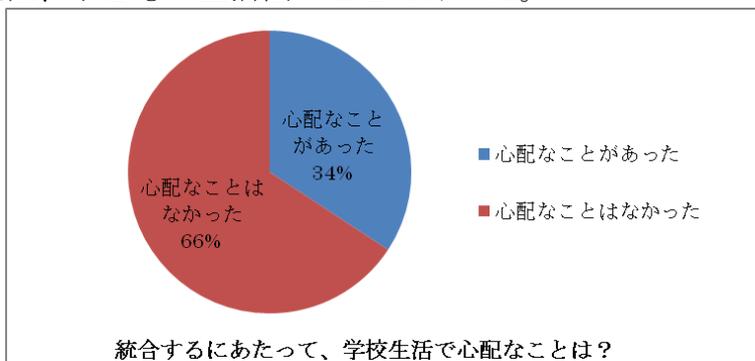
[続いている主な心配なこと]

- ・友達関係 3 件
- ・いじめ 2 件

<保護者>

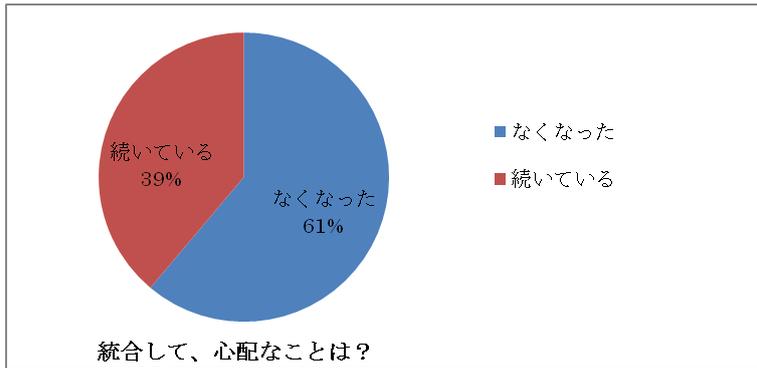
「心配なことはなかった」という回答が 71 人（66%）で、「心配なことがあった」という回答が 37 人（34%）であった。また、「心配なことがあった」と回答した保護者のうち、統合後「心配なことがなくなった」という回答が 22 人（61%）であった。

なお、心配なことについては、友達関係や通学路の安全性、教員の大幅な異動などが主なものであり、統合後も心配なことが続いていることは、友達関係や通学路の安全性、子どもの生活面のことであった。



[主な心配なこと]

- ・友達関係 12 件
- ・通学路の安全性 7 件
- ・教員の大幅な異動 2 件
- ・子どもの精神面 2 件
- ・子どもの生活面 1 件

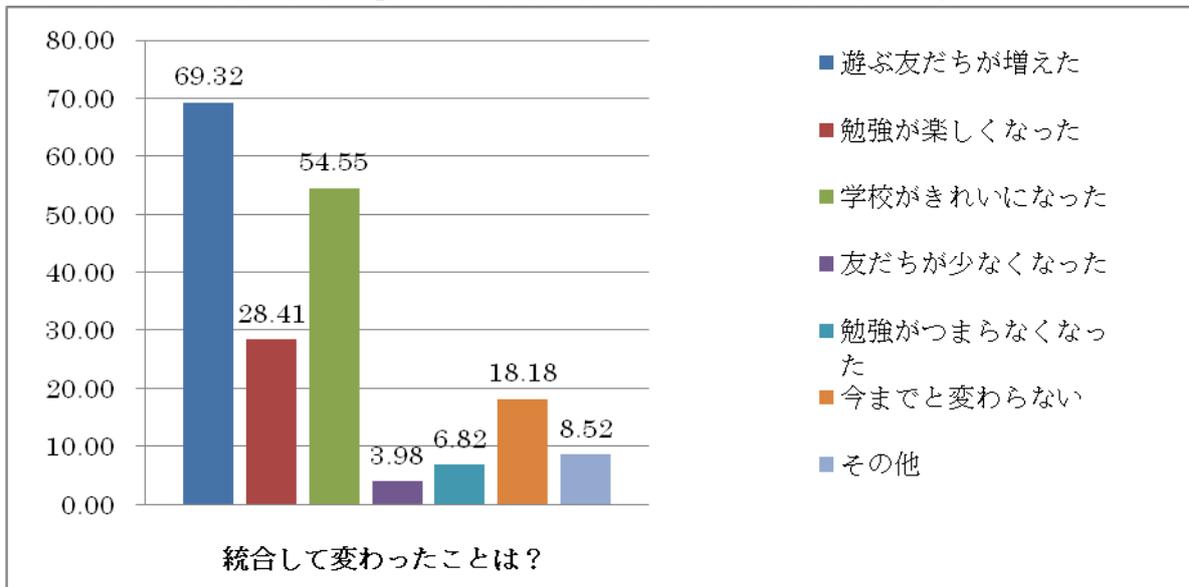


- [続いている主な心配なこと]
- ・ 友達関係 3件
 - ・ 通学路の安全性 7件
 - ・ 子どもの生活面 1件

○ 統合して変わったことはありましたか？（回答はいくつでも）

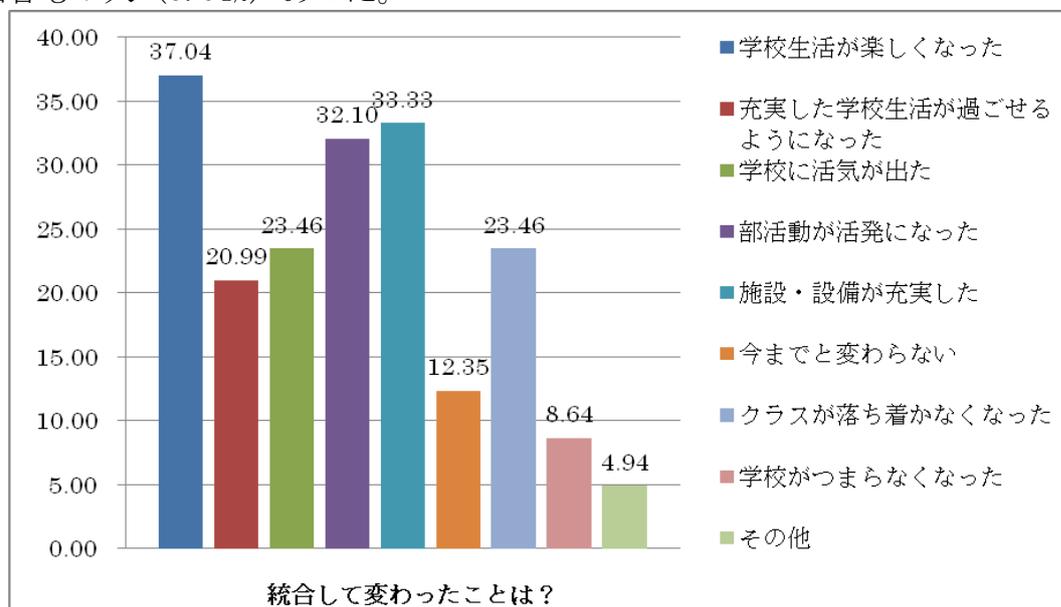
<児童>

「遊ぶ友だちが増えた」という回答が122人（69.32%）、「学校がきれいになった」が96人（54.55%）と多く、次いで「勉強が楽しくなった」50人（28.41%）という回答が多かった。一方で「勉強がつまらなくなった」という回答が12人（6.82%）あり、また、「今までと変わらない」という回答も32人（18.18%）あった。



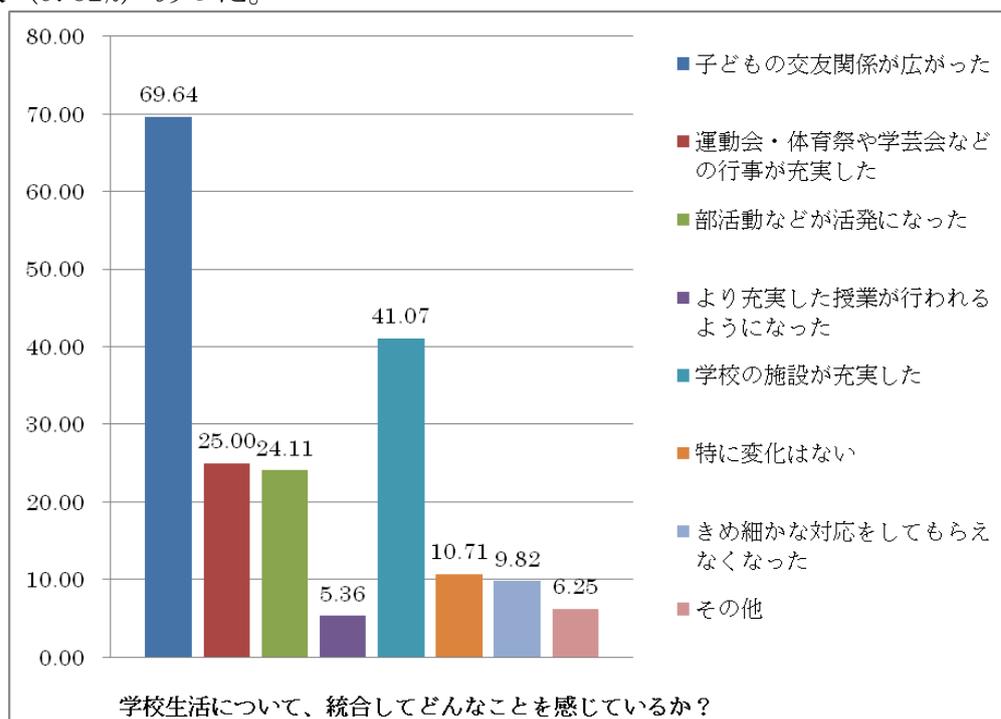
<生徒>

「学校生活が楽しくなった」という回答が 30 人 (37.04%)、「施設・設備が充実した」が 27 人 (33.33%) と多く、次いで「部活動が活発になった」26 人 (32.10%)、「学校に活気が出た」19 人 (23.46%) という回答が続く一方で「クラスが落ち着かなくなった」という回答が 19 人 (23.46%) あり、また、「学校がつまらなくなった」という回答も 7 人 (8.64%) あった。



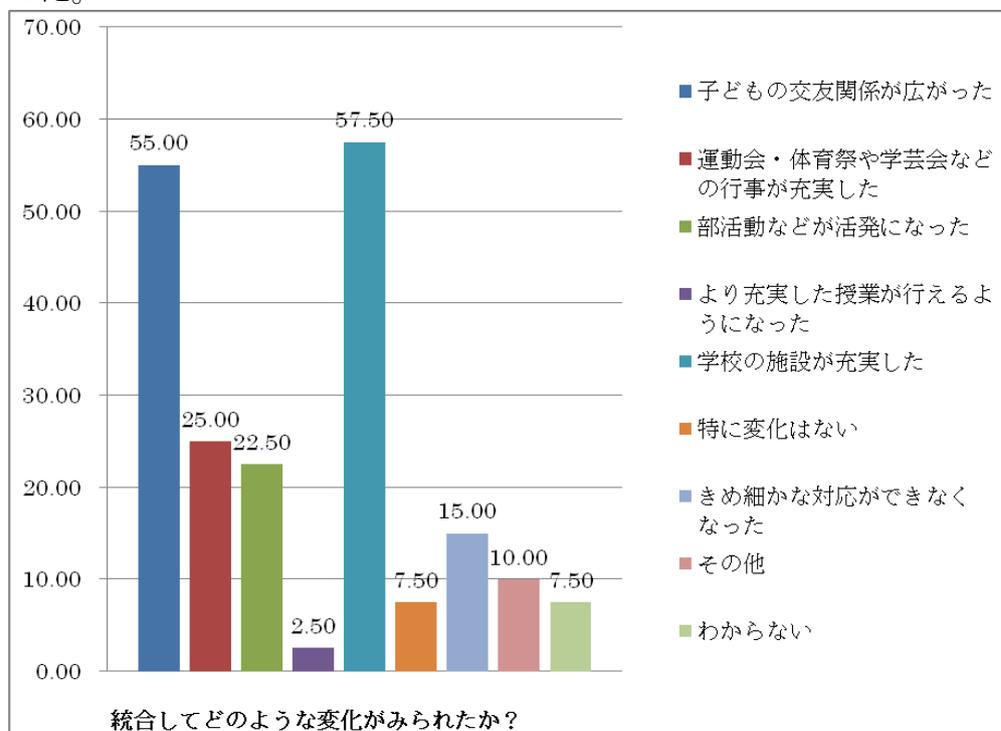
<保護者>

「子どもの交友関係が広がった」という回答が 78 人 (69.64%)、「学校の施設が充実した」が 46 人 (41.07%) と多く、次いで「運動会・体育祭や学芸会などの行事が充実した」28 人 (25.00%)、「部活動などが活発になった」27 人 (24.11%) という回答が多かった。一方で「きめ細かな対応をしてもらえなくなった」という回答が 11 人 (9.82%) あった。



<教職員>

「学校の施設が充実した」という回答が 23 人 (57.50%)、「子どもの交友関係が広がった」が 22 人 (55.00%) と多く、次いで「運動会・体育祭や学芸会などの行事が充実した」10 人 (25.00%) 「部活動などが活発になった」9 人 (22.50%) という回答が多かった。一方で「きめ細かな対応ができなくなった」という回答が 6 人 (15.00%) あった。



【その他の主な意見】

<児童>

- ・学校が好きになった (1 件)
- ・にぎやかになった (1 件)
- ・授業での発言が減った (1 件)

<生徒>

- ・友達ができた (1 件)

<保護者>

- ・マンネリ化していた教科内容や行事などが、統合を機に見直された (1 件)
- ・PTAなどの仕組みが変わった。(1 件)

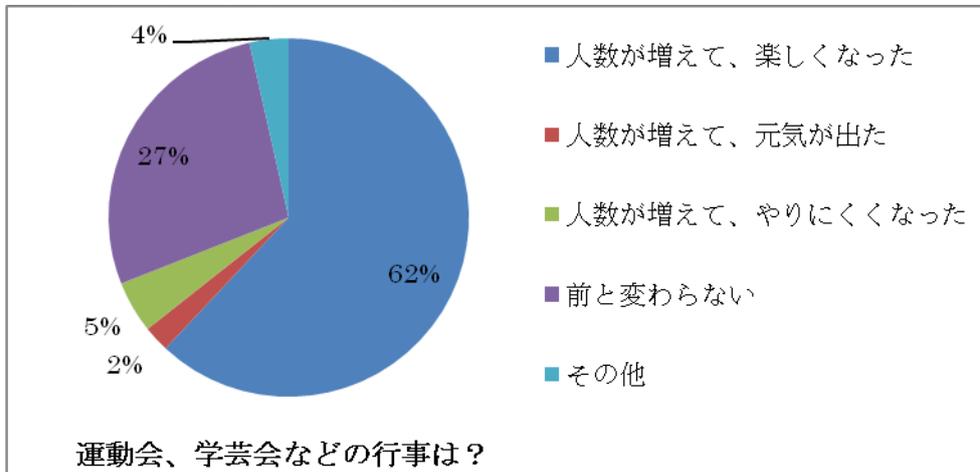
<教職員>

- ・学校の活気がでた (1 件)
- ・地域との結びつきが弱くなった (1 件)
- ・地域や保護者との協力・連携が深まった (1 件)

○ 運動会や学芸会、合唱コンクールなどの行事はどのように変わりましたか？

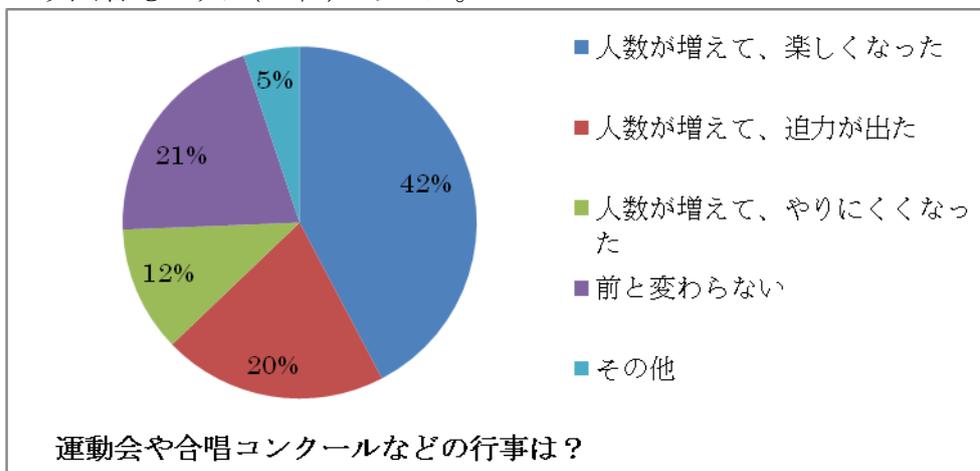
<児童>

「人数が増えて、楽しくなった」という回答が 106 人 (62%) と高いが、「前と変わらない」という回答も 47 人 (27%) あり、「人数が増えて、やりにくくなった」という回答も 8 人 (5%) あった。



<生徒>

「人数が増えて、楽しくなった」という回答が 33 人 (42%)、「人数が増えて、迫力が出た」が 16 人 (20%) で合計 62% と高いが、「人数が増えて、やりにくくなった」という回答も 9 人 (12%) あった。



【その他の主な意見】

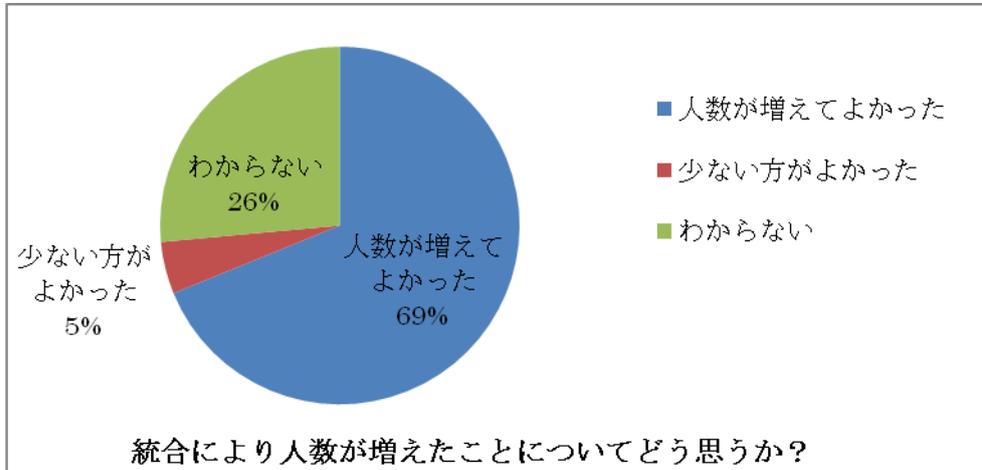
<児童>

- ・にぎやかになった (1 件)
- ・人数が増えてやりやすくなった (1 件)

○ 統合により人数が増えたことについてどのように思いますか？

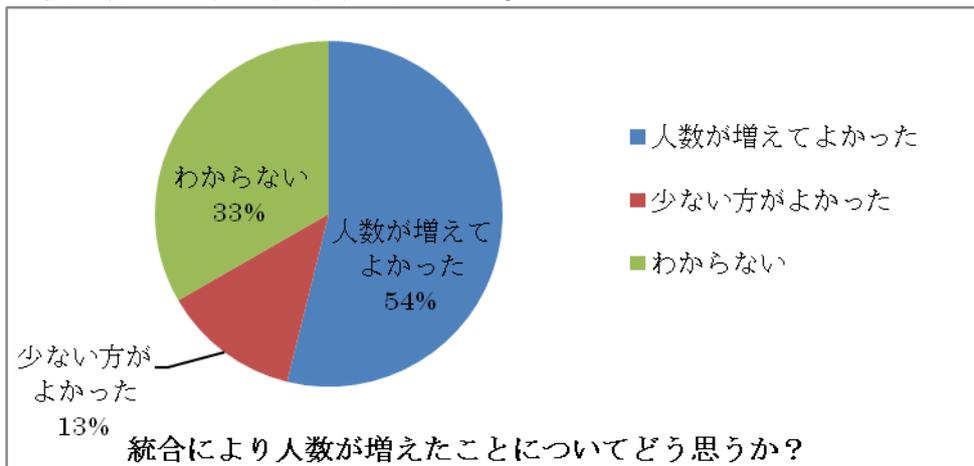
<児童>

「人数が増えてよかった」という回答が 117 人（69%）と高く、「少ない方がよかった」という回答は 8 人（5%）であった。



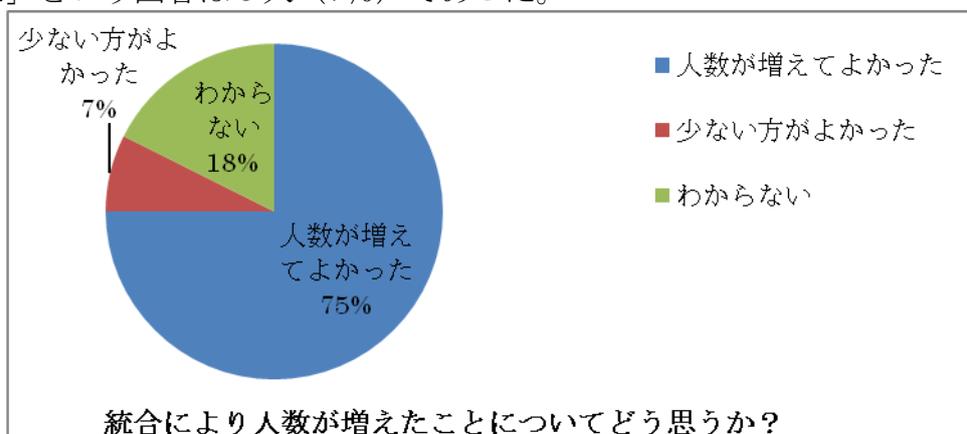
<生徒>

「人数が増えてよかった」という回答が 42 人（54%）あり、「少ない方がよかった」という回答は 10 人（13%）であった。



<保護者>

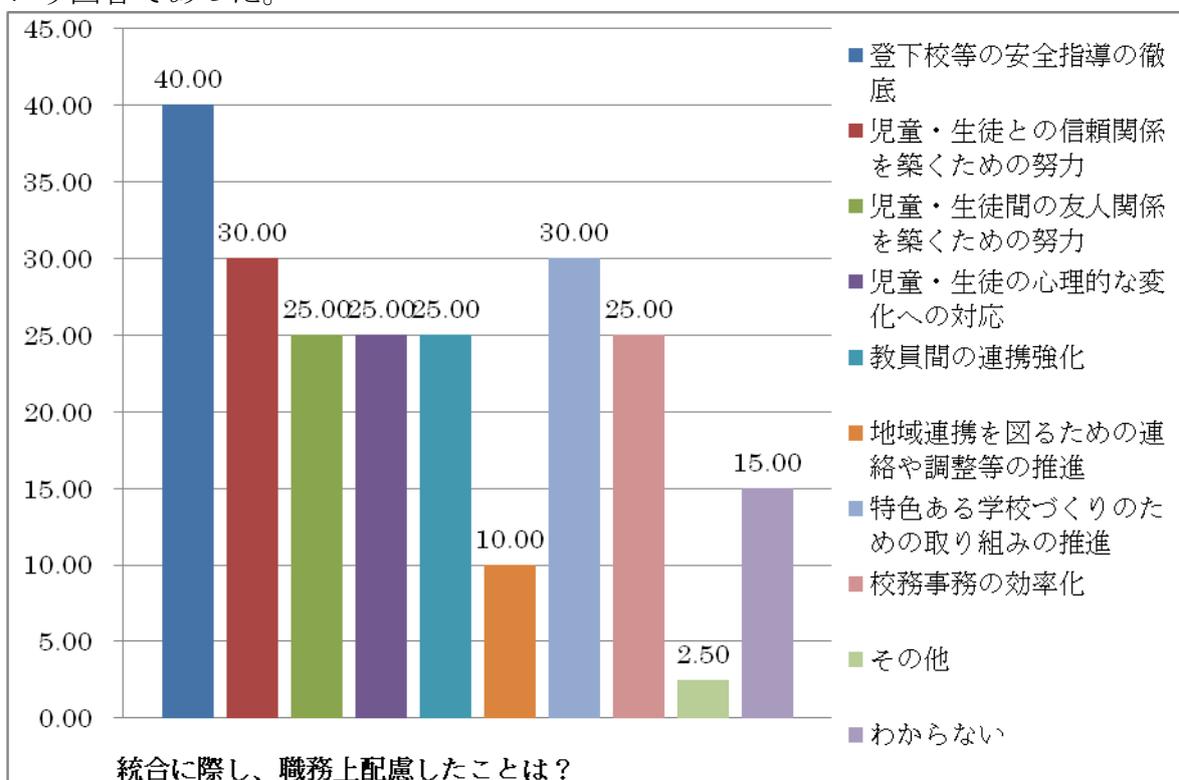
「人数が増えてよかった」という回答が81人（75%）と高く、「少ない方がよかった」という回答は8人（7%）であった。



○ 統合に際して、職務上配慮したことは何ですか？（回答は3つ以内で選択）

<教職員>

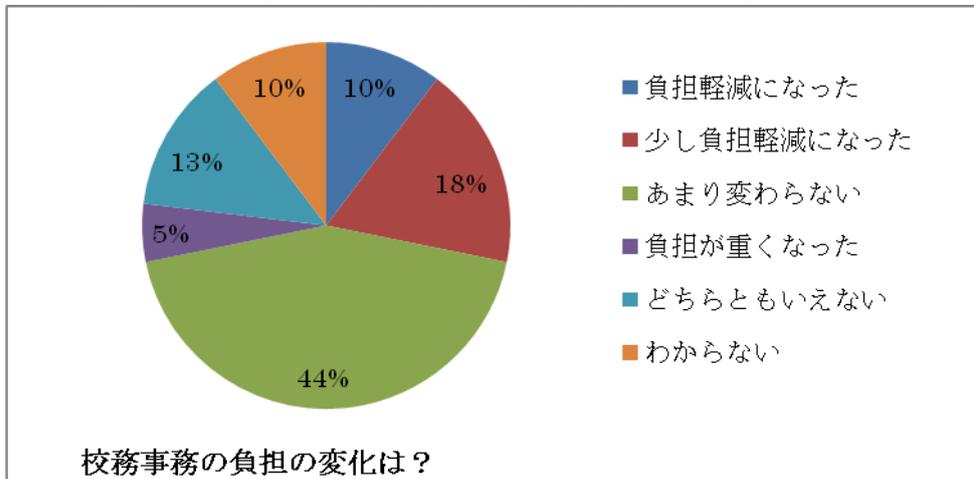
「登下校等の安全指導の徹底」という回答が16人（40%）と最も多く、次いで「児童・生徒との信頼関係を築くための努力」と「特色ある学校づくりのための取り組みの推進」が12人（30.00%）で「児童・生徒間の友人関係を築くための努力」「児童・生徒の心理的な変化への対応」「教員間の連携強化」「校務事務の効率化」が10人（25%）という回答であった。



○ 校務事務の負担に変化はあったと思いますか？

<教職員>

「あまり変わらない」という回答が17人（44%）と最も高いが、「負担軽減になった」という回答が4人（10%）「少し負担軽減になった」7人（18%）であった。一方で「負担が重くなった」という回答が2人（5%）あった。



自由意見

<生徒>

- ・学校のことについては、保護者だけではなく生徒の意見も取り入れてもらいたい。
- ・ボランティア等は大切なので、もっとやりたい。
- ・学校施設を充実してほしい。

<保護者>

- ・小中連携はメリットもあるが、教員の多忙化を危惧する。
- ・地元を愛する意識を幼少期から養うことで、地域の活性化や学校のよきあり方につながっていくと思う。
- ・学校と地域、子ども達が関わりあうことは、子どもの育成、安全面から考えても良いと思う。
- ・学校や地域・保護者の一部の人にさらなる負担にならないか不安である。
- ・子ども達をもっと地域の活動やお祭り等の行事の手伝いに参加できることがあっても良いと思う。
- ・保護者が学校・地域にもっと気軽に参加できるような方法、ボランティアの必要性や具体的な内容などを例示する必要がある。
- ・教員が子どもと向き合える時間の確保が大切である。

<教職員>

- ・子ども達の人格形成のためには、様々な年齢・性別の人との交流が不可欠である。
- ・小中連携や学校支援ボランティアの導入により、学校が多忙になるのでは意味がない。
- ・小中連携について、発達段階での違いを埋めることは難しく、小学校と中学校では大きな違いがある。生活指導の情報交換は必要である。
- ・学区域では、人材に限られる場合もあるので、中野区全体として活用可能な学校支援ボランティア制度としてもらえると良い。
- ・学校支援ボランティアに多くの人に参加してもらうのはいいが、学校には多くの個人情報があるため、個人情報の漏えいが心配である。

アンケート調査の質問項目

<児童>

- 問 現在通学している学校と学年を教えてください。
- 問 あなたは、現在通学している小学校をどんな学校にしたいですか。
- 問 近くの中学校のお兄さんやお姉さんと一緒にやりたいことを教えてください。
- 問 地域の人やお父さんやお母さんが学校でいろいろなことを教えてくれたり、手伝ってくれることについて、どのように思いますか。

<生徒>

- 問 現在通学している学校と学年を教えてください。
- 問 あなたは、現在通学している中学校をどんな学校にしたいですか。
- 問 小学校から中学校に入学して、困ったことはありましたか。
- 問 小学校から中学校に入学して困ったことは、どのようなことですか。
- 問 近くの小学校と一緒にやりたいことを教えてください。
- 問 地域の人や保護者が学校でいろいろなことを教えてくれたり、手伝ってくれることについて、どのように思いますか。
- 問 これからの学校は、地域とどのような関係が望ましいと思いますか。

<保護者>

- 問 現在、通学しているお子さんの学年を教えてください。
- 問 お子さんにとって望ましい学校とはどんな学校ですか。
- 問 現在、お子さんが通学している学校について、今後、特にどのようなことに取り組んでほしいと思いますか。
- 問 小学校から中学校への学びの連続性を確保し、確かな学力の定着のため、小学校と中学校の連携を推進していきたいと考えていますが、小学校と中学校で取り組んでほしいことは何ですか。
- 問 これからの学校は、地域とどのような関係が望ましいと思いますか。
- 問 教育委員会は、学校で学校支援ボランティアの活用を図っていきたいと考えています。そのことについてどのように考えますか。
- 問 学校支援ボランティアとしての協力について、どのように考えますか。

<教職員>

- 問 児童・生徒にとって望ましい学校とはどんな学校ですか。
- 問 学校は、今後、特にどのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。
- 問 小学校と中学校の連携を推進していくため、今後、特にどのようなことを強化していくべきだと思いますか。
- 問 これからの学校は、地域とどのような関係が望ましいと思いますか。
- 問 教育委員会は、学校で学校支援ボランティアの活用を図っていきたいと考えています。そのことについてどのように考えますか。

<白桜小の児童>

【追加質問】

- 問 白桜小学校になる前に通学していた学校を教えてください。
- 問 白桜小学校になる前に、心配なことはありましたか。
- 問 白桜小学校になって、心配なことはどうなりましたか。
- 問 中野昭和小学校・東中野小学校の時とくらべて、変わったことありますか。
- 問 中野昭和小学校・東中野小学校の時とくらべて、遠足や運動会、学芸会などの行事は変わりましたか。
- 問 白桜小学校になって、人数が増えましたが、そのことについてどう思いますか。

<南中野中の生徒>

【追加質問】

- 問 南中野中学校になる前に通学していた学校を教えてください。
- 問 統合するにあたって、学校生活で心配なことはありましたか。
- 問 南中野中学校になって、心配なことはどうなりましたか。
- 問 南中野中学校になって、変わったことありますか。
- 問 運動会や合唱コンクールなどの行事は、どう変わりましたか。
- 問 南中野中学校になって、人数が増えましたが、そのことについてどう思いますか。

<白桜小・南中野中の保護者>

【追加質問】

- 問 統合するにあたって、お子さんの学校生活において心配なことはありましたか。
- 問 統合して、心配なことはどうなりましたか。
- 問 学校生活について、統合したことでどんなことを感じていますか。
- 問 統合して児童・生徒数が増えましたが、そのことについてどのように思いますか。

<白桜小・南中野中の教職員>

【追加質問】

- 問 統合したことで、どのような変化がありましたか。
- 問 学校の統合に際して、職務上配慮したことは何ですか。
- 問 教員数が増えたことにより、校務事務の負担に変化があったと思いますか。